

2026 年度（令和 8 年度）研究業績「学会発表」

1. Anna Yoneyama, Tekehiro Kodama, Naoki Fujita, Jotaro Mikami, Teppei Okamoto, Hayato Yamamoto, Atsushi Imai, Shingo Hatakeyama 【演題名】医師-患者間における抗癌剤への価値観差を可視化する試み：抗癌剤治療効果を金銭的感觉に置換することによるアンケート研究 【学会・研究会名】第 113 回日本泌尿器科学会総会（JUA2026）【開催場所】京都市：国立京都国際会館【開催期間】2026 年(令和 8 年)4 月 23-26 日【発表形式】口演
2. 三浦 知、齋藤久夫、鈴木唯司【演題名】I-HDF 導入患者の炎症性マーカーと Alb の経過観察(第 2 報)【学会・研究会名】第 36 回日本臨床工学会【開催場所】福岡市：福岡国際会議場・マリンメッセ B 館【開催期間】2026 年(令和 8 年)5 月 16-17 日
3. 小湊純史【演題名】エコーガイド下穿刺に新たな視点<スマートグラスエコー>【学会・研究会名】第 36 回日本臨床工学会【開催場所】福岡市：福岡国際会議場・マリンメッセ B 館【開催期間】2026 年(令和 8 年)5 月 16-17 日
4. 坪井 滋 1、佐藤美紗季 1、鈴木唯司 1、大山 力 2、畠山真吾 3【演題名】過剰分泌されたヘプシジンの活性を阻害するペプチドの同定【学会・研究会名】第 92 回日本生化学会東北支部例会・シンポジウム【開催場所】弘前市：弘前大学文京町キャンパス 50 周年記念会館【開催期間】2026 年(令和 8 年)5 月 29-30 日【発表形式】口演【所属】1 (公益財団法人) 鷹揚郷腎研究所・癌免疫細胞生物学研究部、2 弘前大院・医学・先進移植再生医学、3 弘前大院・医学・泌尿器科学

(2026 年 5 月 31 日現在)

以下余白